

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
八街市	八街市	平成27年度～令和元年度	平成27年度～令和元年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指標		現状(割合※1) (令和 年度)	目標(割合※1) (令和 年度) A	実績(割合※1) (令和 年度) B	実績 /目標※2
排出量	事業系 総排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	1事業所当たりの排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	生活系 総排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	1人当たりの排出量	kg/人	kg/人 ( %)	kg/人 ( %)	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t ( %)	t	%
再生利用量	直接資源化量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%
	総資源化量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	%
最終処分量	埋立最終処分量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

指標		現 状 (平成27年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績 /目標※3
総人口		73,220	71,491	69,932	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	19,476	20,899	18,042	86.3 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	26.6 %	29.2 %	25.8 %	-30.8 %
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0	0	0	0 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0 %	0 %	0.0 %	0.0 %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	32,413	34,700	32,381	93.3 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	44.3 %	48.5 %	46.3 %	47.6 %
未処理人口	汚水衛生処理未処理人口	21,331	15,892	19,509	122.8 %

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載

## 2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの		浄化槽設置整備事業	八街市	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の設置促進を図る。	平成27年度～令和元年度	平成27年度:23基 平成28年度:23基 平成29年度:9基 平成30年度:14基 令和元年度:20基 合計:89基
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

### 3 目標の達成状況に関する評価

当初計画では5年間で115基の合併処理浄化槽の整備を目標に実施したが、実績は89基の整備となった。このため、浄化槽の処理人口及び普及率も目標値に達しなかった。最初の2年間は予定通りの基数を整備できたが、3年目以降の申請件数が伸びなかったことが、目標を達成できなかった要因と考えられる。

しかしながら、合併処理浄化槽の普及率や未処理人口は着実に減少し、5年間で未処理人口は1,822人の減少となった。

#### (都道府県知事の所見)

汚水衛生未処理人口については、目標を15,892人としていたところ、実績は19,509人となり、目標を達成できていない。

また、合併処理浄化槽で汚水を処理する人口についても、目標を34,700人としていたところ実績は32,381人となり、目標を達成できていない。しかし、総人口に対する合併処理浄化槽の汚水処理人口比率は、平成27年度の現状44.3%と比較して実績46.3%と2.0ポイント増加しており、合併処理浄化槽の設置整備は本地域の汚水衛生未処理人口の減少に寄与していると言える。

今後は、改善計画書に基づき、引き続き公共下水道の設置整備と未処理世帯の下水道への接続を推進するとともに、下水道が整備されていない地域においては単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換を促進し、汚水衛生未処理人口の減少に努められたい。

様式第10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
八街市	八街市	平成27年度～令和元年度	平成27年度～令和元年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指標		現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t	%
	1事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	t	%
	1人当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	t	%
	総資源化量	t	t	t	%
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	%
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指標		現 状 (平成27年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績 /目標
総人口		73,220	71,491	69,932	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	19,476	20,899	18,042	86.3 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	26.6 %	29.2 %	25.8 %	-30.8 %
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0	0	0	0 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0 %	0 %	0.0 %	0.0 %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	32,413	34,700	32,381	93.3 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	44.3 %	48.5 %	46.3 %	47.6 %
未処理人口	汚水衛生処理未処理人口	21,331	15,892	19,509	122.8 %

※目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

未処理人口に係る目標を達成できなかった要因は、未処理世帯の下水道接続への切り替えが進まなかったこと、下水道が整備されていない地域において、合併処理浄化槽への転換が進まなかったことによるもの。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和7年度まで

今後も継続して浄化槽設置整備事業を展開し、公共下水道事業と連携して未処理人口を減少させていく。

(都道府県知事の所見)

汚水衛生未処理人口については、目標達成状況報告書でも述べたように目標を達成できなかった。しかし、総人口に対する合併処理浄化槽の汚水処理人口比率は平成27年度の現状から増加しており、本地域における浄化槽の設置整備は汚水衛生未処理人口の減少に確実に寄与していると言える。

今後は、目標が達成できなかった要因を把握し、目標達成に向けた方策を実施することで、引き続き汚水衛生未処理人口の減少に努められたい。